

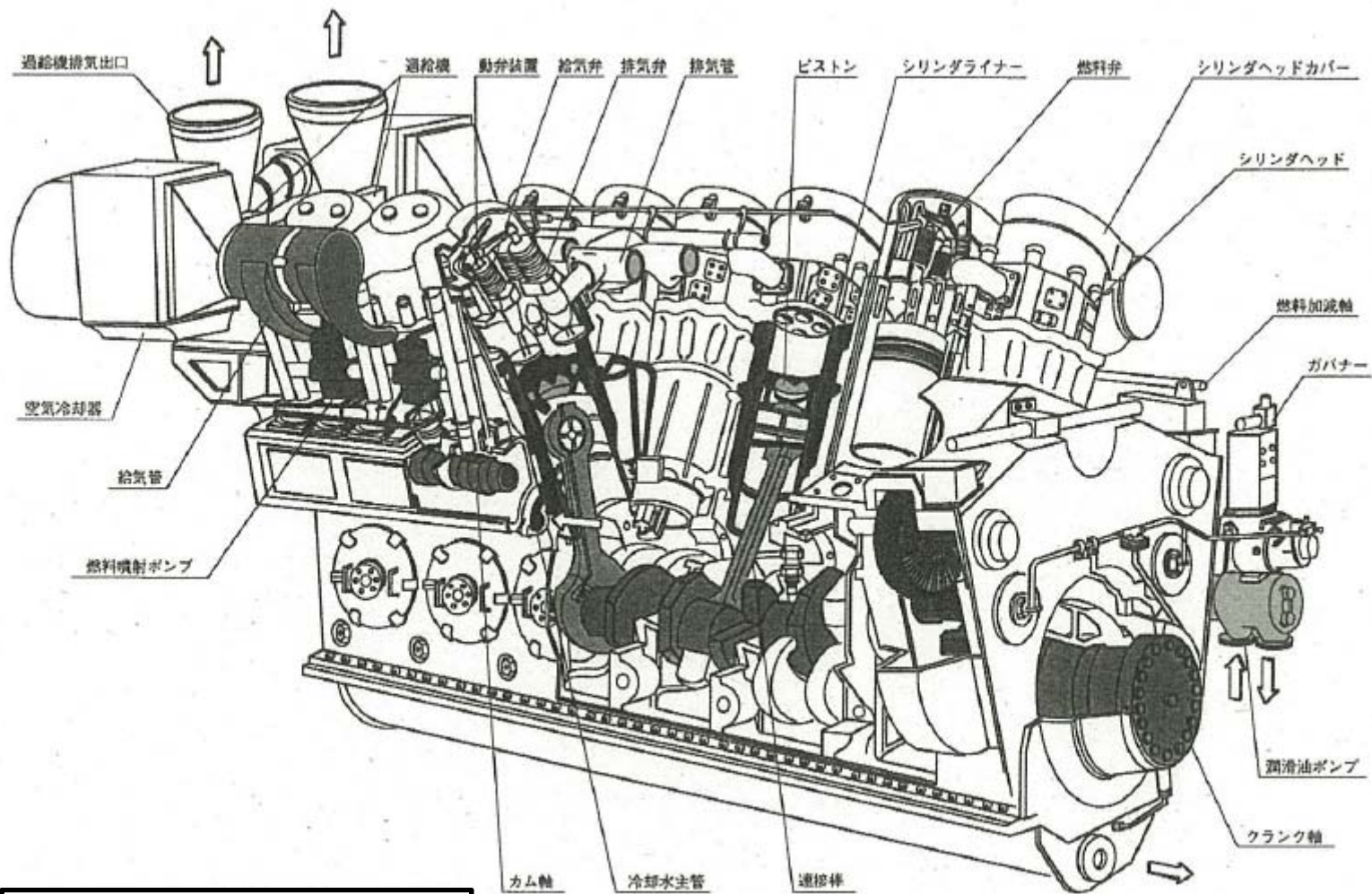
平成27年 7月17日  
国立研究開発法人  
日本原子力研究開発機構  
敦賀事業本部

高速増殖原型炉もんじゅ非常用ディーゼル発電機B号機  
シリンダヘッドインジケータコックの変形について

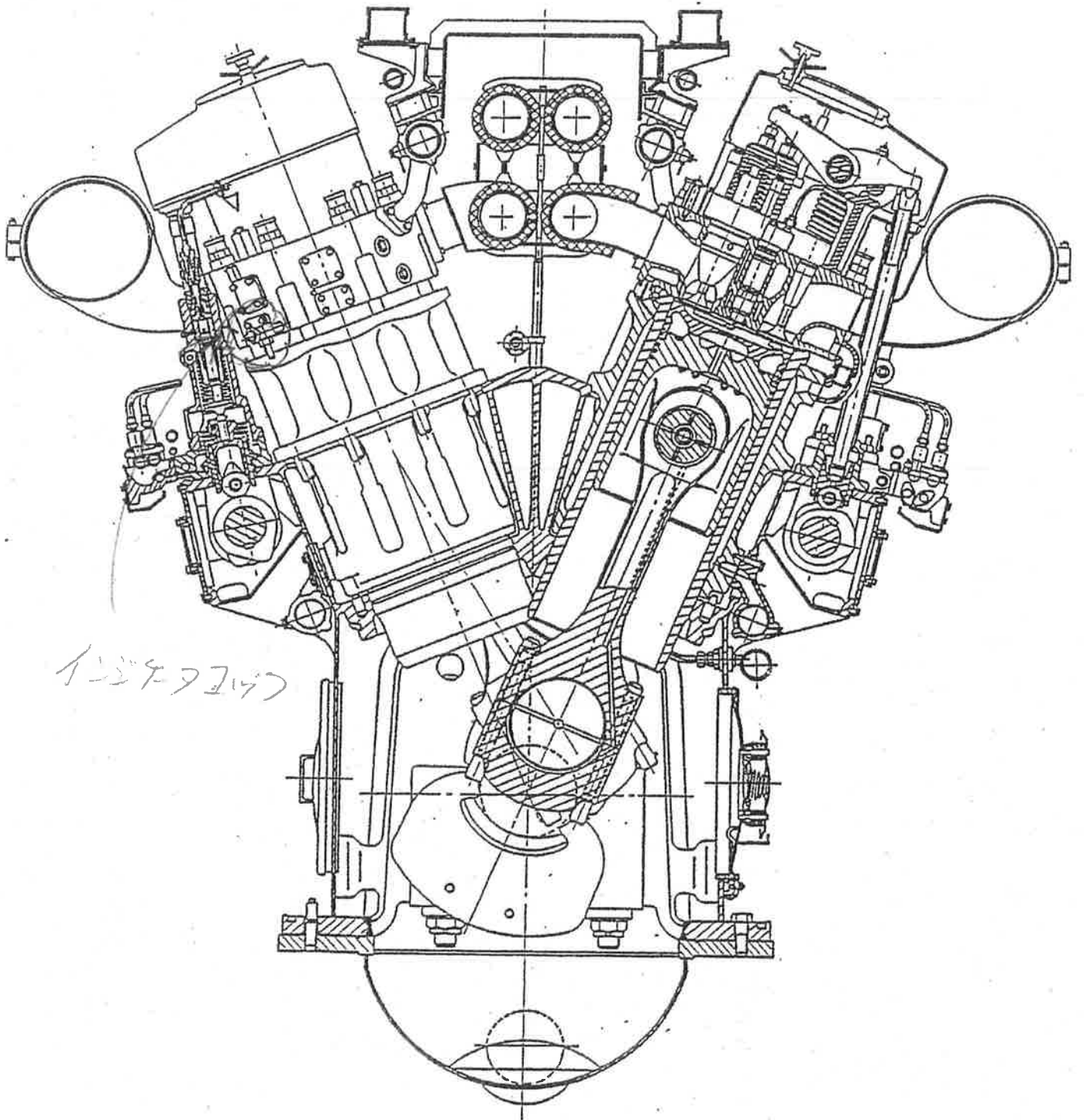
1. 発生日時 : 平成27年 7月17日(金) 14時20分頃
  2. 発生場所 : 高速増殖原型炉もんじゅ ディーゼル建物
  3. 状 況 :  
高速増殖原型炉もんじゅ(定格出力28万kW)では、低温停止中のところ、14時20分頃ディーゼル発電機<sup>\*1</sup>B号機の分解点検中に、シリンダヘッド(No.7)の落下により、シリンダヘッドのインジケータコック<sup>\*2</sup>及び潤滑油配管の変形を確認しました。  
本件による負傷者はなく、潤滑油の漏れ、環境への影響もありません。  
なお、ディーゼル発電機はA、C号機が自動待機中<sup>\*3</sup>です。
- \*1 外部電源が喪失した際に、プラントを安全に停止するために必要な機器に電源を供給する設備。
- \*2 起動前の準備として、シリンダ内に溜まったガスを排出する際に使用するもので、運転中及び待機中は、閉とするが、起動前及びターニングの際には弁を開けてシリンダ内のガスを排出するための弁。12個のシリンダに1つずつ設置されている。
- \*3 原子炉停止中は、非常用ディーゼル発電機が2台動作可能であることが求められている。

添付資料: 「もんじゅ」ディーゼル発電機概略図

以 上



ディーゼル発電機概略図



12547747

FIG. 3—10 (½) INDICATOR COCK  
 インジケータ コック

